

登録コード	ASE03628	開講年度	2026					
授業科目	特別研究				担当教員	濱渦 康範		
英文授業名	Graduate Research				副担当			
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	修士2年
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ							
	【専攻】生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	青果物利用学の分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力，批判的思考力を有し，農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	青果物利用学の分野で必要とされる情報収集・分析能力，批判的思考力を有し，当該分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。		
授業の概要	青果物利用に関係する研究課題を設定し，資料収集・実験等を通じて研究を遂行し，随時ディスカッションしながら，成果を修士論文にまとめます。また，その過程で学術研究集会などにおいて発表できるプレゼンテーションの訓練を行います。							
Contents:	This is the actual research activity for making thesis of master's degree.							
授業計画	1．研究課題の設定と実験計画の策定（情報収集） 2．研究に必要なとなる知識と技術の習得（材料の取扱い，各種分析法，解析法等） 3．研究の実施 4．データ検討会（適宜） 5．中間発表会や学術研究集会に向けたプレゼンテーションの訓練 6．研究の継続（2年次） 7．研究成果検討会 8．補足・確認実験（適宜） 9．修士論文の作成 10．最終試験（修士論文発表会）に向けたプレゼンテーションの訓練							
成績評価の方法	目標達成度，研究に対する取り組み姿勢，修士論文の完成度（論文審査委員会による審査）および最終試験により評価します。 秀：90～100点、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下							
成績評価の基準	提出された修士論文が読みやすい構成にまとめられており，自らの十分な研究データと学術情報に基づいた論議と考察が適切であれば「優」評価，さらに，その考察が教員を感心させるレベルで展開されていれば「秀」レベルとして評価します。							
事前事後学習の内容	実験を行った後は，自身のデータをよく観察し，適切なデータがとれているかを検証したり，比較実験であれば差や傾向を見つけたり，あるいは確認実験が必要であるか否かなど，検討する癖をつけてください。 また，自身のテーマに関連した情報，とくに学術情報を中心に，幅広く，多角的に収集し，整理して，必要に応じ発信できるように心がけてください。							
履修上の注意	研究データは学術論文などで一般公開されるまでは，「秘密保持」の意識が必要です。軽い気持ちでデータを研究室外に提示することがないように，注意してください。							
質問,相談への対応	随時対応します。							
学生へのメッセージ								
【教科書】	指定しません。							
【参考書】	「Phytochemistry of Fruit and Vegetables」Tomas-Barberan and Robins編， 「Functional Foods」Shi, Mazza and Le Maguer編， 「Flavonoids in Health and Disease」Rice-Evans and Packer編， 「Improving the Health-Promoting Properties of Fruit and Vegetable Products」Tomas-Barberan and Gil編，など							